



金沢

国際親善ニュース

ナンシー市姉妹都市提携40周年



ナンシー市代表団来沢 姉妹都市提携40周年記念合意書調印



金沢市代表団ナンシー訪問 ナンシー市長表敬訪問

金沢市姉妹都市交流委員会

金沢市とナンシー市の姉妹都市提携40周年を記念し、ナンシー市からはナンシー市長をはじめとする代表団を迎え、また金沢市の代表団もナンシー市を訪問しました。そのほか、40周年を記念するさまざまなイベントが開催されました。

ナンシー市代表団来沢 (7月16日~7月18日)

7月16日から18日の日程で、アンドレ・ロシノ市長をはじめとする代表団が金沢に滞在しました。滞在中は、山野市長表敬訪問や、今後の姉妹都市交流の発展を確かめる「姉妹都市交流及び協力に関する合意書」への



調印式の様子



ナンシー市長団が金沢市役所に来庁

調印、市民との交流会などが行われました。また、金沢21世紀美術館や鈴木大拙館、金沢駅周辺の開発地域などの視察、および両市の都市開発について意見交換などが行われました。さらに、団員である石嶮職人が、市内の店舗などでナンシー市の特産品を使った石嶮をPRしました。

〔ナンシー市長団〕7名

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| アンドレ・ロシノ (ナンシー市長) | ジャン・ミシェル＝ベールモン (ナンシー市助役) |
| ヴェレナ・ダンリ (ナンシー市国際交流課長) | 點田永里奈 (ナンシー市国際交流課職員・通訳) |
| パスカル・タトン (大ナンシー都市開発局長) | アラン・ポトスキー (建築士・政策アドバイザー) |
| アブデラニ・アザブ (石嶮職人) | |

〔主な日程〕

- 7/16 来沢、金沢市長表敬訪問、合意書調印式、市民交流会
- 7/17 都市政策等に関する意見交換、金沢駅・鈴木大拙館・市民芸術村視察
- 7/18 離沢

金沢市代表団 ナンシー市訪問 (9月28日~9月30日)

9月28日から9月30日の日程で、横越徹議長 (金沢市姉妹都市交流委員会会長) をはじめとする代表団がナンシー市を訪問しました。

ナンシー市では提携40周年記念セレモニーが開かれ、ロシノ市長と横越議長によって今後の具体的な交流事業を確認する書にサインがなされたほか、ナンシー市の小学生による歌や空手の披露、砺波静子さんからの漆工芸品の寄贈



記念セレモニーで握手をする横越議長とロシノ市長



ナンシー市長表敬訪問の様子

などが行われました。また、金沢市代表団の訪問にあわせて日本や金沢に親しむ市民イベント「日本ウィークエンド」が開催され、生け花や書道、アニメなどの日本・金沢を紹介するブースが並びました。書道ブースではナンシー市民によ

し ま い と し て い け い し ゅ う ね ん 姉妹都市提携40周年

る書道コンクールが開かれ、優勝者には濱田副市長より記念品が手渡されました。

金沢市からは茶道と能楽の団が派遣されました。遠州流茶道・松原宗江代表ら7名による茶道団は日本ウィークエンドのブースにて呈茶を披露し、加賀宝生公演団長の住駒幸英金沢能楽会理事長、副団長の藪俊彦同常務理事ら29名による能楽団は、ナンシー市のポワレル劇場にて公演を行い、藩政時代に金沢城内で営まれた年始行事「御松雛子」を150年ぶりに再現しました。

また、金沢市代表団によるロシノ市長への表敬訪問が行われ、市長との懇談の中で今後の姉妹都市交流のさらなる発展が約束されました。その後、金沢市立病院長らが両市の病院間交流のためにナンシー市内の大学病院を視察し、交流協定締結に向けて関係者と会談を行いました。

〔金沢市代表団〕

- 金沢市 横越徹金沢市議会議長、濱田厚史副市長、ほかに職員5名
- 金沢市立病院 高田重男院長、辻宏和消化器内科長
- 金沢美術工芸大学 久世建二学長、神谷佳男教授

〔主な日程〕

- 9/28 ナンシー着
- 9/29 姉妹都市提携40周年記念セレモニー出席、日本ウィークエンド視察、能楽公演鑑賞
- 9/30 ナンシー市長表敬訪問



高員の能楽講演会場



日本ウィークエンドで茶道を披露

がくせい うけいれ は けん 学生インターンの受入・派遣

姉妹都市提携40周年を記念して、今年初めて、学生インターンの受入と派遣が行われました。ナンシー市からはラファエル・ジグラーさん（ロレーヌ大学）を受入れ、金沢市からは揚見奈津美さんと加藤充志さん（共に金沢大学）を派遣しました。

ナンシー市に派遣されたインターン生は、美術館や資料館などナンシー市役所の施設での仕事のほか、他都市から派遣されている学生との交流やアクティビティを体験することができました。また、金沢市で受入れたインターン生も、玉川こども図書館や金沢卯辰山工芸工房など金沢市役所の施設での仕事のほか、日本人学生や留学生との交流イベントに参加しました。両市に派遣されたインターン生は、それぞれの都市で仕事体験だけでなく、様々な国の学生との親睦を深めることができました。

Topics

かいさい マルシェ・ド・ノエル開催

姉妹都市提携40周年の記念イベントとして、フランスのクリスマスイベントである「マルシェ・ド・ノエル」が12月20日から25日にかけて、しいのき迎賓館広坂緑地で開催されました。ナンシー市から招いた菓子職人のピエ



シャレが並ぶ様子

ール・マーシャル氏によるナンシー市やお菓子の紹介のほか、フランス式の屋台小屋「シャレ」に、フランスで親しまれている食べ物や雑貨が並べられ、たくさんの方がホットワインや暖かいスープを味わいながらフランスのクリスマスの雰囲気を楽しみました。

かなざわにちふつきょうかい か し しょく にん こうりゅう 金沢日仏協会 菓子職人交流

金沢日仏協会は設立40周年の記念事業としてナンシー市と菓子職人の交流を行いました。ナンシー市から招いた菓子職人バスティアン・ベダール氏は9月2日から18日にかけて金沢で和菓子の研修を行い、同協会の訪仏の際にナンシー市とパリ市で両市民に和風菓子を披露しました。

また、和菓子職人の山下修平氏も同協会の訪仏の際、ナンシー市において和菓子づくりを上演しました。

各姉妹都市のマラソン大会で金沢マラソンPR

蘇州マラソン

大会名：2013第4回蘇州環金鷄湖国際ハーフマラソン大会
 大会日：2013年4月14日（日）
 参加者数：18,323人
 派遣者数：4名

永江庸悦石川陸上競技協会会長、福井有澄石川陸上競技協会審判部長をはじめとする金沢マラソンPR団4名が4月12日から15日の日程で蘇州市を訪問し、「2013第4回蘇州環金鷄湖国際ハーフマラソン大会」参加者全員に金沢マラソンのチラシを配布するとともに、大会当日には金沢マラソンPRブースを設けて本大会参加者に金沢マラソンをPRしました。大会

参加者の中には、「ハーフはあるか。」「賞金はあるか。」と、熱心に質問してくる人もいました。また、「今すぐにも金沢マラソンに申し込みたい。」という人もいました。さらに、金沢マラソンPR団一行は、金沢マラソンの参考とするために、大会運営も視察しました。



大会参加者に金沢マラソンをPRする金沢マラソンPR団員ら

全州マラソン

大会名：第12回全国夫婦、家族マラソン大会
 第1回巡礼50kmウルトラマラソン大会
 大会日：2013年10月5日（土）
 参加者数：各約1,000人、計約2,000人
 派遣者数：8名

蔵前賢次金沢市陸上競技協会普及強化副委員長、安藤研一同協会総務委員長及び市民ランナーなどで構成される金沢マラソンPR団8名が10月4日から6日の日程で全州市を訪問し、5日に開催された二つのマラソン大会「第12回全国夫婦、家族マラソン大会」及び「第1回巡礼50kmウルトラマラソン大会」の会場にてPRブースを設置して大会参加者に金沢マラソンをPRしました。

また、「第12回全国夫婦、家族マラソン大会」には、金沢市民ランナー5名が参加し、現地ランナーと交流を深めるとともに、木村真由美さんが女子ハーフで優勝したのをはじめ、参加ランナー全員が入賞するという好成績を取めました。

さらに、一行滞在中には、本マラソン大会の主催者である全羅北道陸上連合会と交流を深め、全州市から金沢マラソンにランナーを送りたい旨の申出がありました。



一斉にスタートを切る金沢・全州市民ランナーら

金沢マラソンPRブースの様子

Topics

金沢マラソンPR団、全州・ソウル訪問

小阪栄進金沢市陸上競技協会副会長、正吉喜久夫金沢市陸上競技協会副理事長などで構成される訪問団7名が、7月8日から12日の日程で韓国全州市及びソウル市を訪問しました。

全州市では、全羅北道庁、全州市役所を表敬訪問し、金沢マラソンをPRしました。全州市役所では、市役所内にランニングクラブがあるので、積極的に派遣を検討したい旨の回答をいただきました。また、夕方には、朴炳益全羅北道陸上連合会会長以下役員8名と交流しました。全羅北道陸上連合会からも、金沢マラソンへのランナー派遣について、積極的に協力したい旨の回答を得ました。

ソウル市では、プレジデントホテルで開催された、観光庁主催の「マラソン・ジャパン」に金沢マラソンブースを設けるとともに、プレゼンテーションを行い、ソウル市民にPRしました。本行事は、日本で開催される10のマラソン大会が参加して韓国の旅行社やメディア、マラソンクラブなど約150名に商談も行いました。



マラソン・ジャパンでの金沢マラソンPRブース

全羅北道陸上連合会金沢市訪問

2月9日から12日の日程で、朴炳益全羅北道陸上連合会会長を団長とする全羅北道陸上連合会訪問団12名が金沢市を訪れました。滞在中、一行は金沢市役所表敬訪問、



全羅北道陸上連合会の金沢市表敬訪問の様子

金沢マラソンのコース確認をするるとともに、金沢市陸上競技協会との交流を深めました。

2015年11月15日に金沢市で初めて開催されるフルマラソン大会「金沢マラソン」のPR団を、姉妹都市であるベルギー・ゲント市、フランス・ナンシー市、中国・蘇州市、韓国・全州市のマラソン大会に派遣し、金沢マラソンをPRしました。各都市での成果は、以下のとおりです。

ナンシーマラソン

大会名：大ナンシー・ハーフマラソン
 大会日：2013年10月6日（日）
 参加者数：2,500人
 派遣者数：5名



ランナーがスタートを切る様子

野村泰裕金沢市陸上競技協会記録副委員長を団長とした金沢マラソンPR団5名が、10月3日から7日の日程でナンシー市を訪問し、6日に開催された大ナンシー・ハーフマラソンの会場で、金沢マラソンのPR活動を行いました。会場に設置したPRブースでは、金沢市のインターシップ研修生や金沢市派遣留学生も集まりPRに協力してくれました。PR団はポケットティッシュやあぶらとり紙などのPRグッズやチラシを参加者らに配布しました。都市間の距離は遠いものの、多くのラン

ナーが金沢マラソンに興味を持ってくれました。

滞在中は、大ナンシー・ハーフマラソン大会の主催者であるパスカル・チエボ氏と懇談を行い、金沢マラソン



ナンシーのランナーにPRする様子

への協力を依頼しました。チエボ氏は自身もランナーであり、元オリンピック陸上選手でもあるため、金沢マラソンへの参加に大変意欲的で、「数十人のメンバーを集めて参加したい。」と話しました。このほか、ナンシー市役所のランニングチームと面会して金沢マラソン参加を呼びかけたり、マラソン大会の関係者の協力を得て、会場の視察や運営に関するレクチャーを受けるなどして、マラソンを通じた両市のつながりをいっそう深めることができた滞在となりました。

ゲントマラソン

大会名：2013ゲント・ウィンターマラソン
 大会日：2013年12月15日（日）
 参加者数：約3,800人
 派遣者数：4名



PR活動の様子

12月12日から18日の日程で、池野忠石川陸上競技協会常務理事、出澤英之金沢市陸上競技協会審判副委員長ら金沢マラソンPR団4名がベルギー・ゲント市を訪問し、12月15日に現地で開催された「2013ゲント・ウィンターマラソン」の大会会場で、金沢

らツアーを組んで金沢へ訪問団を派遣する提案があり、それを受けてNPO法人ゲントロープ代表のゲルト・ゲイセル氏は「旅行代理店を通じたツアーを利用して多くのゲント市民に募集を呼びかけたい。」と話しました。姉妹都市提携35周年時



金沢マラソンPRに向けて一致団結

（2006年）にゲント市代表団として金沢を訪れたカタリナ・セーヘルズ元助役は、「金沢マラソンには必ず参加する。楽しみにしている。」と語ったほか、レーシング・ゲント陸上クラブ代表のダニー・クスデー氏は「これから陸上クラブのマラソンメンバーにも声をかけ、多くのメンバーで金沢を訪れたい。」と力強く語りました。

ゲント・ウィンターマラソンには当日、約3,800名の参加者が集まり、多くのマラソン愛好家に賑わいました。また主催者であるNPO法人ゲント・ロープの強力なバックアップを受けて、大会中、PR団は大会運営などについても、多くの関係者と有意義な意見交換を行いました。

マラソンをPRしました。

金沢マラソンPRブースには、本市の魅力をよく知る金沢市の元国際交流員と元金沢大学留学生という強力な金沢応援団が集結し、万全の状態でのPRに臨みました。

PR団は、マラソン参加者にオランダ語で参加を呼びかけるチラシ入りのティッシュを手渡したほか、PRブースでは金沢市の観光パンフレットやポスターなどを活用し、観光地としても魅力ある金沢でのマラソン大会参加を呼びかけました。

多くのマラソン愛好家であふれかえる会場内では、数多くの参加者が日本の姉妹都市・金沢でのマラソン大会開催に関心を示し、PR団は対応に追われました。

また金沢マラソンPR団一行は、マラソン大会の前日、ゲント市役所でダニエル・テルモント市長のほか、マラソン関係者と懇談し、金沢マラソンへのゲント市民の参加に向けた協力を求めました。懇談のなかで、テルモント市長からはゲント市が



優勝者へのマラソンTシャツ贈呈

Topics

ベルギー・ランニング専門誌に金沢マラソン特集!

ゲント・ウィンターマラソンを主催したNPO法人ゲント・ロープ代表のゲルト・ゲイセル氏が発行するランニング専門誌「ザトペック」に金沢マラソン特集ページが掲載されました。

「ザトペック」は、ベルギーのみならず、フランス、スイス、カナダなど広くフランス語圏の国々でも発行されているランニング専門誌です。掲載されたのは、12月にゲント市を訪問した金沢マラソンPR団の活動の様子や金沢マラソンの詳細情報です。雑誌の名称「ザトペック」は、元チェコスロバキアのマラソン選手で「人間機関車」の異名で知られたエミール・ザトペックの名前からとったもので、ゲイセル氏が、彼の妻ダナ・ザトペコワ氏と親交が深いことからつけられたものです。

2013年7月15日から22日の日程で、金沢らしい夜間景観整備計画検討委員会委員長の水野一郎金沢工業大学副学長及び同委員会委員の近田玲子氏をはじめとする夜間景観視察団6名が、アントワープ市とナンシー市を訪問しました。

姉妹都市ベルギー・アントワープ市、フランス・ナンシー市では、夜間景観に対する施策を観光誘客の一つとして戦略的に展開しており、昨年8月の市長訪欧時においても、その実情の一端を学ぶことができました。この度の両市への派遣事業では、本市の景観専門家及び市の実務担当者を派遣し、専門的見地から両市の実情を視察することで、両市での各種施策についての理解と知識を深めました。

今回の派遣事業で得た経験を生かし、今後、本市の滞在型観光を目指した夜間景観施策の充実をより一層図っていくものです。

1. ナンシー市視察（7月17日）

ナンシー市では、ナンシー市を含む20のコミューンで構成される大ナンシー担当者から、大ナンシー庁舎において、照明計画について、説明を受けました。この中で「大ナンシーでは、①まぶしすぎない、②エネルギーの節減、③新たな公共照明の価値創造、をコンセプトとして照明計画に技術基準や主要施策照明のランドデザインがまとめられているが、景観的な魅力発信等の来街者対策は、各々のコミューンで、地域ごとに策定することとなっている。」と現状について解説がありました。

また、プロジェクションマッピングのイベントは午後11時前の遅い時間の開始でありながら、広場は多くの人たちが埋めつくされ、「光と音のスペクタクル」と名づけられたこのイベントは、約30分弱の間、歴史的背景を織り交ぜながら、今年のテーマである「ルネッサンス」を美しく映像化したもので、音響も効果的に使われていました。



大ナンシーによる公共照明の説明



プロジェクションマッピングの説明



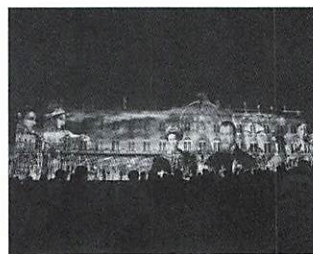
アントワープ夜間景観施策の説明



アントワープ市長との懇談



スタニスラス広場



今年のテーマ「ルネッサンス」



アントワープ祭会場のライトアップ



アントワープ市内のライトアップ

姉妹都市青年交流会議 開催

2013年8月28日から3泊4日の日程で、近郊の高等教育機関などで学ぶ大学生20人とオーストラリア、アゼルバイジャン、中国、フランス、韓国、ロシア、タイの姉妹都市などからの7か国の留学生17人、計37人の参加を得て、「姉妹都市青年交流会議～交流拠点都市金沢と世界をつなぐ若者プロジェクト～」を開催し、共通するテーマ「金沢を知る、観る、創る、そしてつなぐ」について意見交換・発表を行うとともに文化体験などを行いました。

この事業は共通言語を日本語、主な活動の場（フィールドワークもあり）、発表会場を「金沢学生のまち市民交流館」とし、市内旅館での合宿形式で実施しました。日程の概要を別表のとおりとし、最も重要な催しを8月30日の「全体会議」（以下、会議）での発表と位置付けました。

発表のための活動単位として、参加者は日本人と留学生の混合で約8人ずつ、5グループに分かれ、助言者として1名の国際交流員が加わりました。準備時間が、1日半と限られていたため、準備作業は昼夜兼行、合宿所でも続けられ、各グループは、適宜ファシリテーターである金沢大学の八重澤美知子教授および同学の岸田由美准教授に指導をうけつつ、それぞれよく検討し、その成果を会議で発表しました。発表内容は金

沢のまちづくりに役立つ多くのアイデアと具体的な提案を含む興味深いもので、聴講された市民の方々から高い評価を受けました。

文化体験としては、金沢職人大学校で、職人の方々に技術を教授する熟練の職人の方を講師に招き、茶道体験と日本庭園の見学を同時に行い、両者の密接な関連性を学ぶ講座、鈴木大拙館の見学、さらに、地元の景勝地の再発見として専門ガイドの解説付きで、普段とは違う兼六園の雰囲気を感じてもらいました。また、金沢市の進めている夜間景観形成施策を紹介するため、市内のライトアップ見学も行いました。

なお、参加者から、期間中に各自のSNSで日本語はもちろん、英語、中国語、韓国語、ロシア語等で150回以上発信したとの報告がありました。

日付	時間	内容	
8/28 (水)	10:30	開会式（金沢市長挨拶・学生代表決意表明）	
	11:00	オリエンテーション（自己紹介・グループ分け）	
	12:00	昼食	
	13:20	文化体験（職人講座：茶道・日本庭園）	
	16:20	グループ活動	
	19:00	夕食（宿舎）	
	20:30	自由時間（発表研究・情報発信等）	
8/29 (木)	8:00	朝食	
	10:00	終日グループ活動（含：ファシリテーター指導）	
	19:00	夕食（宿舎）	
	20:30	自由時間（発表研究・情報発信等）	
8/30 (金)	8:00	朝食	
	10:00	リハーサル等（含：ファシリテーター指導）	
	12:00	昼食	
	14:00	全体会議（～16:30） 【発表タイトル（グループ名）】 ・留学生×金沢（KFC班） ・金沢お手軽一日旅行（抹茶班） ・じわもんで身体も金沢も元気にせんけえ!？（珠姫班） ・生きている古都 in JAPAN ～古き良き「金沢」を生かして～（June班） ・金沢にふれるジャパンをもらおう（ラズリー班）	
	17:30	交流夕食会	
	19:40	施策紹介（市内ライトアップ見学）	
	21:30	自由時間（情報発信等）	
	8/31 (土)	8:00	朝食
		10:00	市内視察（鈴木大拙館見学・兼六園見学）
		12:20	昼食
13:30		修了式（アンケート、感想交換、修了証交付）	



開会式で挨拶する山野市長



開会式で決意表明する学生代表



茶道体験の様子



グループ活動の様子



全体会議での発表



全体会議での寸劇



聴講者との質疑応答



記念撮影

バッファロー 【アメリカ合衆国】



ピアノロール寄贈

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人 **面積** 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

バッファロー市民友好親善団の来沢

2013年4月27日から5月1日の日程で、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長を団長とする親善団7名が、両市の交流に縁のある団体との友好を深めるとともに、本市の伝統工芸や文化を体験するため、来沢しました。

滞在中、親善団を代表して道井会長が丸口副市長を表敬訪問し、自動再演ピアノ用の紙製ピアノロール10本を寄贈しました。米国で唯一ピアノロールを生産している工場がバッファロー市内にあることから、2004年に続いて申出があったものです。そのピアノロールを用いて奏者なしで音を奏でる自動再演ピアノは、金沢蓄音器館で展示されています。

Topics

金沢市議会姉妹都市友好訪問団がバッファロー訪問
2013年11月13日から14日の日程で、横越徹金沢市議会議員(金沢市姉妹都市交流委員会会長)を団長とする訪問団一行4名が、バッファロー市を訪れました。一行は、バイロン・ブラウン市長、リチャード・フォンタナ議長らを表敬訪問し、11月5日に三選を果たしたブラウン市長を祝うとともに、金沢マラソンへのバッファロー市民参加の協力依頼や両市の金沢訪問を依頼するなど、今後の姉妹都市交流について有意義な懇談を行いました。また、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長や同委員会メンバーなどとも懇談し、今後の交流計画について意見交換を行うなど、親睦を深めました。引き続き一行は、次の訪問先である、ポルト・アレグレ市へと向かいました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



横越議長(本会会長)を表敬訪問

提携 1967年(昭和42年) **人口** 141万人 **面積** 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウシヨ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

第2回日本祭りで金沢をPR!

2013年8月17日、18日の両日、ポルト・アレグレ市内で開催された第2回日本祭りにあわせて、本市から観光ポスター、工芸品、浴衣などを送付し、会場内に金沢市紹介コーナーを設けるなど、多くの来場者の注目を集めました。南伯日本商工会議所の和田好司専務理事からの依頼に応じて送付したもので、金沢市紹介コーナーにおいて本市の工芸品等が展示されたほか、金沢市から贈られた浴衣が披露されました。日本祭りは、ポルト・アレグレ市役所などの協力のもと地元日系団体の共催で開催され、約3万8千人が会場を訪れました。

世界マスターズ陸上大会にあわせて金沢マラソンPR

2013年10月16日から27日の日程で、ポルト・アレグレ市で開催された世界マスターズ陸上競技選手権大会にあわせて、ポルトガル語で作成した金沢マラソンPRチラシなどを送付し、ポルト・アレグレ市役所などの協力を得て、地元陸上協会などにチラシを配布しました。

南伯日本商工会議所専務理事の来沢

2013年11月8日から9日の日程で、南伯日本商工会議所の和田好司専務理事と同夫人が来沢しました。金沢市議会議員団が11月にポルト・アレグレ市を訪問する際、現地における通訳などのサポートを和田専務理事が担当するため、事前挨拶も兼ねて来沢したもので、滞在中、横越徹議長(本会会長)を表敬訪問し、現地の状況などを伝えました。

Topics

金沢市議会姉妹都市友好議員団がポルト・アレグレ市訪問
2013年11月17日から18日の日程で、横越徹金沢市議会議員(本会会長)を団長とする一行4名が、ポルト・アレグレ市を訪問しました。一行は、ジョゼ・フォーチュナティ市長、ティアゴ・ドゥアールテ議長らを表敬し、金沢マラソンへのポルト・アレグレ市民参加に向けた協力を依頼するなど、今後の姉妹都市交流について有意義な懇談を行いました。

さらに南伯日本商工会議所主催の交流会では、ドゥアールテ議長をはじめ、地元議員、ポルト・アレグレ出張駐在官事務所の後藤領事、地元日系団体関係者など大勢の市民が集まり、両市での今後の交流に向けて親睦を深めました。

イルクーツク 【ロシア連邦】



イルクーツク市代表団の金沢市長表敬

提携 1967年(昭和42年) **人口** 60万人 **面積** 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク市の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

“バイカルでジャズ”ヘジャズバンド団派遣



演奏する金沢市のジャズバンド

2013年4月27日(土)から5月2日(木)の日程で、金沢ジャズ連盟推薦の特別ユニット“KANAZAWA JAZZ MASTERS BAND”5名からなる金沢市ジャズバンド団(6名)を派遣しました。一行は、イ市の音楽祭“バイカルでジャズ”(会

期4/15-1)に参加、音楽劇場及びライブハウスで公演し、音楽を通じた交流を深めました。

なお、この派遣は2012年の提携45年を記念してイルクーツク市のジャズ団に“金沢ジャズストリート”に出演してもらったことに対して、相互交流として金沢のバンド団を派遣して欲しいとの要請に応じたものです。金沢市からのジャズバンドの派遣は初めてのことであり、以下に主な日程を記載します。

- 4/27 出発(成田泊)、4/28 ハバロフスク経由でイルクーツクへ
- 4/29 市長表敬、記者会見等、4/30公演(イルクーツク音楽劇場)
- 5/1 バイカル湖見学、公演(ライブハウス)等、帰国へ、5/2 帰国

金沢市中学生親善団イルクーツク市派遣

2013年7月22日(月)から30日(火)の日程で、谷晃 金沢市総務局長を団長とする中学生親善団23名(うち中学生18名)を派遣しました。現地では、ホームステイや学校訪問等で交流を行うとともに、世界遺産バイカル湖や市内視察等をおして、姉妹都市に関する理解を深めました。今回は初めてバスで



ホスト家庭の方々との記念撮影

成田へ移動、前泊しており、以下に主な日程を記載します。

- 7/22 壮行式後出発(成田泊)、7/23 ハバロフスク経由でイルクーツクへ
- 7/24 市内見学、7/25 市長表敬訪問、学校訪問、幼稚園訪問等
- 7/26 バイカル湖見学、7/27-28 ホームステイプログラム
- 7/29 青少年施設“エコログ”訪問等・帰国へ、7/30 帰国

イルクーツク市代表団来沢 —環境・公園・防災政策等について視察・懇談—

2013年11月10日(日)から14日(木)の日程で、ドゥガロフ プラット副市長を団長とする5名の代表団を受入れました。一行は、戸室リサイクルセンター、駅東口再開発地区及

び姉妹都市公園を視察するとともに、防犯政策に関する意見交換を実施しました。また、市内視察やロシア人墓地訪問・民間友好団体との交流等も行いました。このような代表団の来沢は2008年10月以来であり、以下に主な日程と団員を記載します。
11/10 来沢、11/11 議長表敬、戸室リサイクルセンター視察等
11/12 市長表敬、駅東再開発地区・姉妹都市公園視察、防犯施策講義等
11/13 離沢(移動日・大阪泊)、11/14 帰国(関西空港から)
〔行政視察代表団〕5名
プラット・ドゥガロフ(副市長)
アレクサンドル・ハンハラエフ(議長)
オレグ・ゲエエフスキー(市議)
イリーナ・ツヴィグン(市議)
オルガ・コゾドイ(通訳)

Topics

「日口沿岸市長会」第24回会議参加・報道関係者受け入れ

2013年8月21日から22日の日程で、舞鶴市で第24回日口沿岸市長会会議が開催されました。日本側からは18市、ロシア側9市(姉妹都市イルクーツク市は欠席)の参加があり、本市からは、山野金沢市長が出席し「金沢の目指す世界の「交流拠点都市」と「観光交流」について」と題し、金沢市の取組みを紹介しました。また、同会は、会員市の観光資源を紹介するため、2013年10月12日～19日の日程で、ウラジオストク市報道関係者5名を招き、富山市、高岡市から舞鶴市に向かうツアーを組織したことから、本市も日程の一部を担当し、一行を10月16日に受入れ、金沢を案内しました。

「石川県ロシア協会」交流写真展開催・イルクーツク市代表団受入協力

2013年11月6日～18日の日程で、石川県ロシア協会金沢支部(金沢市ロシア協会)は、金沢国際交流財団に於いて、同協会が毎年設定している日口友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みにおいて交流写真展を開催しました。また、11月12日には、本市が受入れたイルクーツク市代表団に野田山の「ロシア人墓地」を案内するとともに、一行との交流を行いました。

「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、21世紀を迎えた後、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OBの有志で構成され、メンバーの切磋琢磨のための親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている「交流サポーター」の本年度の主な活動は次のとおりです。6月:本年度イ市派遣される中学生への講話(1名2011派遣)、8月:同窓会(9名2002.6.8.11派遣)、8月:姉妹都市青年交流会議参加・協力(3名2006.8派遣)、12月:同窓会(6名2004.6.8.13派遣)、12-1月:年未年始蘇州市訪問(7名2002.6.8.13派遣)、1月:2013年派遣者同窓会(19名)。その他、国際交流員の講座参加、仏・ナンシー市からの文通希望者への対応等も積極的に行っています。

ゲント【ベルギー王国】



ゲント美術館副館長の市長表敬訪問

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人 **面積** 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1816年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ゲント美術館副館長の来沢

2013年7月26日から8月25日の日程で県立美術館で開催された「エミール・クラウスとベルギーの印象派」展の展示指導のために来沢したゲント美術館のモニク・ヴァンローズ副館長が7月23日、山野市長を表敬訪問し、ゲント市のダニエル・テルモント市長の親書を手渡しました。展示会では、ベルギーの印象派の作品など計64点が展示され、そのうち12点をゲント市が設置・運営するゲント美術館から借り受けました。

在ベルギー日本国大使館レセプションで金沢PR

ベルギーと姉妹都市提携をしている日本の都市を紹介するため、2013年12月10日、在ベルギー日本国大使館の大使公邸で開催された天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、姉妹都市PRブースが設置されました。在ベルギー日本国大使館からの依頼に基づき、ベルギーと姉妹都市提携をしている8都市のうち本市のほか、小松市、姫路市など5都市がその趣旨に賛同し、各都市のPR産品を送付しました。本市からはポスター、パンフレット及び工芸品等を送付し、屋外テント内に設置された姉妹都市PRブースは招待客に大好評でした。レセプション当日は、ベルギー政府関係者、外交団など、各界から300名以上が参加し、大盛況となりました。

Nancy, French Republic

ナンシー【フランス共和国】



市長室にて、寄田さん(奥)の帰国挨拶と山野さん(手前)の出発挨拶

提携 1973年(昭和48年) **人口** 10万人 **面積** 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。近郊を含め、学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

23人目の交換留学生

金沢市から昨年派遣された寄田茜さん(金沢美術工芸大学)が帰国し、23人目の留学生として、山野瑞季さん(金沢美術工芸大学)が2013年10月からナンシー国立高等美術学校での留学生生活を始めました。今年は金沢市とナンシー市の姉妹都市提携40周年であるため、それを記念したナンシーの市民イベント「日本ウィークエンド」の企画として、寄田茜さんの作品が展示されました。山野瑞季さんには金沢市代表団がナンシー市を訪問した際に、ボランティアスタッフとして記念事業に参加していただきました。

また、昨年来日したナンシー市からの交換留学生、リュック

美大の学生交流

金沢美大とゲント王立美術アカデミーでは、平成20年に金沢市とゲント市が学生の短期相互派遣交流の協定を調印し、二校間協定に基づく学生の交流を行っています。これまでにゲント王立美術アカデミーからは3名を受け入れ、金沢美大からは8名の派遣を行っています。

今年度は、金沢美大からは、黒田茜さん(デザイン専攻修士1年)と中田利枝さん(工芸専攻修士1年)の2名が交換留学生としてゲント王立美術アカデミーへ派遣されました。ゲント王立美術アカデミーからは、マティアス・プレネンさんが、金沢美大に派遣されました。

Topics

金沢を巣立った若手アーティストがベルギーで活躍!

ベルギー・ブリュージュで開催されたアートコンテスト「INPUT/OUTPUT」で、金沢に縁の深い2名が最優秀賞と優秀賞を占めました。このコンテストは、若手芸術家を対象に、ブリュージュ市が中心となって開催しているもので、2013年で5回目の開催となります。

最優秀賞を受賞したのは、現在ゲント王立美術アカデミーに所属する児玉エミさんで、彼女は2012年夏に金沢の町家に滞在しながら作品制作に取り組みました。また優秀賞を受賞したのは、金沢美大出身で同じく、ゲント王立美術アカデミーに所属する工藤岳大さんです。これからのお二人のさらなる活躍を期待しています。

Topics

ジゼル教授・アンスマンさん来沢

ナンシー大学名誉教授のクリスチャン・ジゼル氏が金沢大学との共同研究のために来日し、金沢市長を表敬訪問を行いました。ジゼル教授に同行したパートナーのジルベルト・アンスマンさんは、滞在期間を利用して「まがわ川子ども図書館」でフランスの絵本の読み聞かせやフランスの遊び歌の紹介などをし、たくさん子ども達と楽しみながらフランスの文化に触れることができました。

蘇州【中華人民共和国】



2013年度蘇州市青少年代表団の交流送別会

提携 1981年(昭和56年) **人口** 647万人 **面積** 8,488km²

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げている。

2013年度蘇州市青少年代表団来沢

顧志梅蘇州市田家炳実験初級中学德育処主任を団長とした、蘇州市田家炳実験初級中学の教諭、通訳及び中学生から構成される蘇州市青少年代表団12名が2013年9月19日から23日まで本市に滞在しました。



芝原中学校交流訪問の様子

滞在中は、山野之義・金沢市長を表敬訪問するとともに、芝原中学校交流訪問、昨年、蘇州市を中学生親善団員として訪問した金沢市の生徒の家庭でのホームステイ・交流などを行いました。今回の訪問団は、昨年に金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣した際、現地でホストファミリーとなり金沢市の中学生と交流した生徒を中心に構成されているため、金沢市のホストファミリーとの交流は最初から打ち解けた雰囲気でした。

中学生の相互交流事業は、これまでに4回の派遣と2回の受入れを行っており、今回が3回目の受入れとなります。

蘇州市文化代表団来沢

2013年12月18日から20日の日程で、季海躍・蘇州市文化放送新聞出版局副処長をはじめとする蘇州市文化代表団4名が金沢市を訪問し、図書贈呈式に出席しました。これは、昨年、本市から蘇州市へ図書133冊を贈呈した返礼として今年度蘇州図書館から図書140冊が贈呈されたのを機に開催されたものです。また、図書贈呈式にあわせて、許曉霞・蘇州図書館副館長と東田真澄・金沢海みらい図書館館長の間で両図書館間での合意書が交わされました。

なお、金沢海みらい図書館にて蘇州市からの贈呈図書及び贈呈品、蘇州市紹介パネルなどを展示した蘇州展が11月17日から12月28日に開催されました。

一行は滞在中、近世資料館、玉川こども図書館、金沢海みらい図書館などを視察し、本市図書館職員との意見交換を行いました。



合意書をかかわした許副館長と東田館長

大連【中華人民共和国】



「蓮心—任文東中国水墨画展」展示会場でのテープカット

提携 2006年(平成18年) **人口** 590万人 **面積** 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、『ロマンの都』『北方の真珠』とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出ししており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

大連工業大学図書贈呈式参加団派遣



大連工業大学で講演する野口教育長

金沢市より大連工業大学に昨年贈呈した502冊の日本語図書の贈呈式に出席するため、野口弘・金沢市教育長を団長とする金沢市代表団3名を5月22日から25日の日程で大連市に派遣しました。

NPO法人日本海国際交流センターのご協力のもと、大連工業大学では、鄒積岩学長と会見を行ったあと、図書贈呈式に出席したほか、野口教育長による「金沢市の教育」についての講演を行いました。

そのほか、大連市滞在中に、朱程清・大連市副市長及び鞠

振偉・大連市教育局副局長を表敬訪問したほか、金沢市と縁が深い大連教育学院や大連大学を訪問し、交流を深めました。

「蓮心—任文東中国水墨画展」開催

12月10日から15日までNPO法人日本海国際交流センター主催の「蓮心—任文東中国水墨画展」が金沢21世紀美術館で開催されました。

10日に開催された開会式に、任文東・大連工業大学副学長を団長とする大連工業大学訪問団4名及び山野之義・金沢市長ら関係者が出席し、芸術性が高い作品を鑑賞しました。大連工業大学訪問団一行は12月7日から11日の日程で本市に滞在しました。

全州 (大韓民国)



金沢伝統工芸展開会式

提携 2002年(平成14年) **人口** 65万人

面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都。現在は全羅北道の道都である。李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓食(ハンシク)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されており、「もっとも韓国的な都市」と評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、持続可能な成長のための21世紀新産業都市への変貌を図っている。

全州市民に加賀花てまりを紹介「第12回金沢伝統工芸展」開催

2013年10月8日から13日まで全州市の校洞アートセンターにおいて「第12回金沢伝統工芸展」を開催し、加賀花てまりや加賀友禅作家が描く飾り扇をはじめ、加賀水引細工、加賀毛針、加賀繻、金沢和傘などの金沢の稀少伝統工芸品



加賀花てまり製作実演をしている松下さん

約117点を展示しました。この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催しているもので、今年で12回目となります。

これにあわせて、加賀花てまり師範の松下良子さんが、10月11日から13日まで全州市を訪問し、加賀花てまり制作実演及び体験講座を実施しました。

また、丸口邦雄・金沢市副市長を団長とし坪内俊二・金沢工芸普及推進協会事務局長ら金沢伝統工芸展開会式参加団が10月6日から8日(坪内事務局長は10月10日まで)の日程で、全州市を訪問し、金沢伝統工芸展の開会式に参加するとともに、宋河珍全州市長を表敬訪問しました。

全州からの茶道家受入



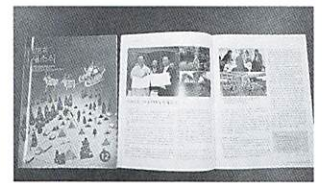
茶礼の実演

世界創造都市フォーラムin金沢の開催にあわせて全州市から鄭美泳・全州伝統文化館茶礼講師ら4名が来沢し、1月23日から25日の日程で本市に滞在しました。1月24日には、金沢21世紀美術館敷地内の松涛庵にて、世界創造都市フォーラムin金沢のパネリストや一般市民に、韓国式茶道「茶礼」の実演・体験会を行いました。鄭講師は解説を担当し、実際に実演を行ったのは、中学1年の李松恩さんと小学4年の李永範君です。二人は、鄭講師の下で茶礼を学びながら韓国内の数々の茶礼関連の大会に出場し、優秀な成績を取っています。

また、同日、金沢の表千家の茶道家らと茶道を通じた交流により、相互に理解を深めました。

「イルボネ・セソシク」に全州市との姉妹都市交流を紹介

在大韓民国日本国大使館が韓国向けに発行している韓国語の月刊広報誌「イルボネ・セソシク(日本の新しい情報)」の2013年12月号に全州市との姉妹都市交流を紹介する記事が掲載されました。



全州市との姉妹都市交流が紹介された「イルボネ・セソシク」12月号

同誌は、1982年から発行されており、日本の政治経済・文化・日韓関係・日本事情・行事などの最新情報を伝えるもので、5,000部が韓国政府機関関係者、大学、企業、日本語教師、図書館、韓国文化院、個人等に配布されるほか、大使館ウェブサイトに掲載、メーリングリスト加入者(約23,000人)に配信されています。

宋河珍全州市長がご退任

2006年7月から二期8年に渡り、全州市長として金沢市との姉妹都市交流発展にご尽力していただいた、宋河珍・全州市長が、2014年2月28日付で全州市長職を退任されました。今後、2014年6月に実施される韓国統一地方選において、全羅北道知事選に立候補する準備に入られます。

宋市長のさらなるご活躍をお祈りしております!

Topics

金沢市議会代表団、全州市訪問

清水邦彦・金沢市議会副議長を団長とする「2013年全州市訪問金沢市議会代表団」10名が、10月23日から25日の日程で全州市を訪問し、全州市議会との友好交流をより一層深めるとともに、「全州ビビンバ祭り」に参加しました。

日韓工業高校生フォーラム開催



日韓工業高校生フォーラム

10月24日から27日の日程で、全州市工業高校訪問団11名が来沢し、金沢市役所を表敬訪問するとともに、金沢市立工業高校で25日に開催された、「日韓工業高校生フォーラム」に参加しました。

これは、両校が2012年に姉妹校提携をして以来、初めての交流となります。

「国際交流まつり2013」開催

国際交流まつり2013は、10月19日（土）、20日（日）に、会場を石川県政記念しいのき迎賓館広坂緑地・石の広場に初めて移して開催しました。

21回目を迎えた「国際交流まつり」は、市民が気軽に世界の文化を体験することで、金沢の国際交流、国際協力活動に理解を深め、金沢の地域で暮らす外国人と日本人が、日常的につながることを目的に開催しています。また、このまつりは金沢国際交流財団と38団体の国際交流関係団体のメンバーからなる運営委員会との協働により実施しています。

今年はずべてのプログラムが屋外での実施となり、ステージを囲むように、各種ブース、体験コーナーを配置した一体感のある会場に、2日間で約10,000人の方に来場いただきました。芝生広場がある会場の特徴を生かし、子どもたちが留学生と一緒に会場内をめぐり、クイズに答える「国際交流まつりオリエンテーリング」を実施し、子どもたちにも国際交流に親しんでもらうことができました。

ステージでは、国際色豊かなステージや大阪韓国文化院のプロのパフォーマーによる「韓国伝統芸術公演」も行われ、来場者の方々も楽しんでいた様子でした。

また国際交流まつり2013の当日の様子や、会場に訪れた外国人市民、日本人市民の方々の写真やメッセージを展示した「国際交流まつり2013記録写真展」を当財団本町交流スクエアにて、2014年1月14日～3月2日にわたって開催しました。



国際交流まつり2013会場の様子



国際交流まつりオリエンテーリングの様子



大阪韓国文化院のステージ

留学生交流員の金沢の魅力発信事業

金沢市内の大学に在籍する新規留学生を、金沢と出身国の交流の担い手として、金沢の魅力を発信する「留学生交流員」に、今年度初めて任命しました。「留学生交流員」は、金沢の歴史、文化、生活を学び、体験する活動に、1年間積極的に参加しました。

6月8日（土）

茶道と金箔貼り体験（35名参加）

7月20日（土）

ホームビジット（日帰り家庭訪問）（14名参加）

9月15日（土）

地域のお祭りに参加（若松社の里秋祭り）（2名参加）

10月16日（土）

国際交流まつり 企画参加（4名参加）

11月16日（土）

金沢の祭り寿司（押し寿司）づくり（12名参加）

1月18日（土）

ホームビジット（9名参加） など

金沢の伝統文化である茶道や金箔貼り、押し寿司作りなどを直に体験することで、「金沢で伝統文化が育まれてきた理由や、市民の生活に深く根付いていることが理解できた。」といった声や、ホームビジット体験を通して、「日本のお父さん、お母さんから金沢のおもてなしの心を学ばせてもらった。」といった感想がたくさん寄せられました。

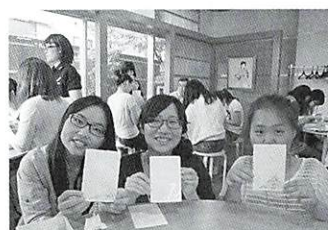
留学生交流員の活動報告は、財団のホームページでも公開しています。ぜひご覧ください。（<http://www2.kief.jp/>）



ホストファミリーとの対面



押し寿司づくり体験



金箔貼り体験



茶道体験

国際交流ダイアリー

4~6月

- 4月8日 在ストラスブール日本総領事館 長谷川晋総領事 来訪
- 5月9日 金沢出身青年海外協力隊員2名がタンザニア・ネパールからの帰国挨拶
- 5月16日 キルギス共和国ビシュケク市JICA日本研修団 来訪
- 5月21日 駐日イスラエル大使館 ニシム・ベンシトリット大使ご夫妻 来訪
- 5月31日 韓国忠清南道禮山郡月進会訪問団 来訪
- 6月11日 フランス・ナンシー精神医学病院 精神科医 ベロニック・ランボレーズ医師 来訪
- 6月16日 韓国郷富塾 来訪
- 6月25日 金沢出身青年海外協力隊員2名がインドネシア・ケニアへの出発挨拶

7~9月

- 7月17日 駐大阪・神戸米国総領事館 クリストファー・ビショップ領事 来訪
- 7月19日 韓国江原道鐵原少年少女合唱団 来訪
- 7月24日 駐日フィンランド大使館 ユッカ・パヤリネン一等書記官 来訪
- 7月26日 中国大連経済貿易代表団 来訪
- 8月1日 中国高齢者福祉施設研修団 来訪
- 8月2日 ライオンズクラブ国際協会青少年交換プログラム参加学生（ベルギー出身） 来訪
- 8月5日 フランス国立東洋言語文化研究所学生 来訪
- 8月20日 中国蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 9月23日 中国蘇州市長諮問会議に山出保元金沢市長参加
- 9月23日 北伸福祉会訪中団 中国蘇州市訪問（~24日）

10~12月

- 10月25日 韓国全州市柔道会金沢訪問団 来訪
- 11月10日 第15回日中韓3か国地方政府交流会議（開催地：富山市）参加（~11日）
- 11月11日 韓国全羅南道順天市訪問団 来訪
- 12月12日 大連市教育友好交流訪問団 来訪（~14日）
- 12月20日 韓国全州大学校芸術体育大学オーケストラ訪問団 来訪
- 12月24日 金沢出身JICAシニア海外ボランティア1名がタイへの出発挨拶
- 12月24日 ライオンズクラブ国際協会青少年交換プログラム参加学生（オーストラリア出身） 来訪

1~3月

- 1月23日 韓国水原市訪問団 来訪
- 1月24日 在京都フランス総領事館 シャルランリ・ブローネ総領事 来訪
- 2月7日 ベトナム木版画保護プロジェクト訪問団 来訪
- 2月18日 東京にて開催された「金沢の食文化発信レセプション」にリュック・リーバウト駐日ベルギー王国大使を始め、アメリカ・ロシア・ブラジル・フランス・中国・韓国の駐日大使館外交官らが出席。
- 2月19日 金沢出身青年海外協力隊員1名（市職員）がケニアからの帰国挨拶
- 2月25日 駐日フィンランド大使館 マヌ・ヴィルタモ大使ご夫妻 来訪
- 3月3日 ベーチェット友の会石川県支部蘇州市訪問団 出発挨拶
- 3月20日 金沢出身青年海外協力隊員1名がフィリピンへの出発挨拶



アマンダ・ウング (アメリカ)

2013年は多彩な一年間でした。6月に大学を卒業し、正式に社会人の世界に足を踏み入れました。幸運にも、金沢市国際交流員として勤務することが卒業前に内定し、友達と一緒に意気揚々とし卒業証書を受け取りました。

このように日本で働くということは、高校時代の私にはあまり可能性がなさそうだと思っていました。当時の私は、日本語を一言も話すことができなかったからです。しかし、大学で日本語の勉強を始めてから興味がどんどん湧いてきました。今この新しい環境である金沢で仕事をしながら、新しい人・物・文化と触れる事ができ、とてもあり

がたいです。

金沢に来てから色々な新しい経験が出来ました。仕事上では、初めて通訳の派遣依頼を受けた時には大変ワクワクしましたが、今ではもう日常業務の一つになりました。

仕事以外には、金沢の様々な美景を見る喜びを体験することができました。金沢港から見た日本海に沈む夕日、ひがし茶屋街の夜景、兼六園でライトアップされた紅葉などの美しさはいつまでも忘れられません。それから、12月に父母の出身地であるマレーシアにも行くことができ、2013年の後半は本当に楽しく過ごしました！

これからも、日本語の能力を磨きながら、金沢市の国際化のため、精一杯努めてまいりたいと思いますので、皆さん、どうぞよろしくお願ひします。



ジュリー・ヴァルク (フランス)

皆さん、ボンジュール！金沢市のフランス国際交流員として2年目に入りました。2013年は通年で日本にいましたので、百万石まつり、鷹掛け、雪づりを体験し、四季折々の金沢の趣に触れることができました。

金沢の様々な年中行事を経験でき、大変嬉しく思っています。

2013年は、仕事面で有意義な1年でした。ナンシー市との姉妹都市提携40周年を迎え、7月中旬にナンシー代表団が金沢を訪問し、姉妹都市提携40周年合意書調印式の通訳と司会を勤めさせていただきました。更に、9月下旬から10月上旬の金沢市代表団の一員とし

てナンシー市へ出張しました。また、ナンシー市との交流を深めるプロジェクトに積極的に取り組みました。これは、現在もフォローしています。

その他の国際交流員の仕事は、通訳、翻訳、ラジオ出演など多岐に渡ります。小学校と中学校に訪問したほか、市民向け講座やフランス文化とフランス語を紹介するイベントをしました。多くの市民の方々と接し、フランス語とフランス文化に触れていただけましたので、非常に実りのある交流でした。

この一年、チャレンジも多く意義深い1年でした。まだ寒い時期ですが、春の予感が感じられ、桜を楽しむにできる季節です。2014年ももっと交流が深まりますように頑張っていきたいと思っています。



ウェルナ・ヴァンホーレンベーク (ベルギー)

Dag iedereen! (皆さん、こんにちは！)

ベルギーのブリュッセル市から来ましたヴァンホーレンベーク・ウェルナです。2013年の8月から金沢市で国際交流員として勤めはじめてからあっという間に半年が経過しました！金沢と姉妹都市のゲント市との間で交流が活発なので、ベルギー国際交流員としてとても充実した日々を送っています。

来日する前は金沢についてほぼ何も知りませんでした。金沢に来てから同僚や町の方々に金沢の歴史や伝統文化、工芸についていろいろ教えていただきました。今後、ベルギーやヨーロッパの方々に金沢の魅力を紹介していきたいと思っています。

金沢は伝統工芸や歴史で有名な都市ですが、音楽が大好きな私としては、音楽を楽しむ所も多いことが気に入りました。金沢に来てから兼六園や金沢21世紀美術館など多くの素晴らしい名所を回りましたが、今までで一番気に入ったのは駅前にある石川県立音楽堂です。金沢にはオーケストラ・アンサンブル金沢の他にJAZZ-21というユースジャズオーケストラもあります。2014年にはJAZZ-21の皆さんが音楽交流のために姉妹都市ゲント市へ行くことになりました。金沢の音楽団がベルギー、ゲントの文化に触れることを嬉しく思っています。金沢とゲントのビッグバンドの演奏を聞くことができることを楽しみにしています。

これからもゲント市と金沢市との交流が一層活発になるよう頑張りたいと思っています。今年も宜しくお願ひします！



印亜瑜 (中国)

ダージャーハオ！(みなさん、こんにちは)

中国蘇州市から参りました印亜瑜です。日本の伝統文化が今に生きる城下町、そして私の故郷である蘇州市の姉妹都市、金沢市で働くことができ、とても嬉しく誇りに思っています。毎日を大切にしながら、張り切って仕事をさせていただいています。

時間の経つのは早いものですね。一年の勤務期間は残りわずかとなりました。この一年間は本当に感動の連続でした。最初の感動は、5月の金沢城リレーマラソンです。職場の仲間同士とお互いに励ましながら走りました。大変でしたが、走り終わったら達成感で胸いっぱいでした。それに、チームの一員として走れたことを光榮

に思いました。それから6月の百万石まつり、夏の花火大会、秋の紅葉、四季の兼六園など、全てが私の心を魅了しました。金沢が大好きです。

仕事も充実していました。蘇州中学生親善団、蘇州文化団の受入や、大連市図書館贈呈への出張のほか、料理講座、学校訪問、ラジオ出演、文化紹介など様々な市民との交流行事に参加しました。中国のごと、蘇州市のことも金沢市の皆さんに伝えることができ嬉しかったです。お互いに理解を深め、今後の国際交流に少しでも役立てられたらと思います。

私の任務期間はあとわずかですが、2015年の新幹線開業と金沢マラソンを目前に控える金沢市のため精一杯頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。シェシェ！（ありがとうございます）



李瑜林 (韓国)

皆さん、アンニョンハセヨ (こんにちは)！

韓国出身の国際交流員李瑜林です。2011年の4月に金沢に来てからもう3年が経ちました。金沢の生活にもすっかり慣れた自分ですが、真っ白の冬景色を見る度、その美しい景色にいつも感心してしまいます。

ところで、今年度も金沢市の国際交流員としていろいろなことを経験させていただきました。国際交流まつりなどの交流イベントの参加、学校や公民館での異文化・言語講座、市施設のパンフレット翻訳などを行いました。また、今年度の7月には「2015金沢マラソン」のPRの

ため韓国にも行ってきました。いつもなら通訳の形で金沢のことを伝えていたのですが、今回は韓国のランナーやスポーツ関係者の前で金沢マラソンのプレゼンテーションを行いました。自分のことばで石川県の名所やマラソンコースなどについて発表するのは初めてだったのでとても新鮮でした。来る2015年には東京ー金沢新幹線開業や第1回金沢マラソンなどの大きなイベントがたくさん予定されています。これからもより多くの方々に金沢の魅力を発信していきたいと思っています。金沢のみなさん、今年もチャルプタクハムニダ (よろしくお願ひします)



第40号 (2013・平成25年度)

2014年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市市長公室 国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069